



松山市民病院 病児保育 アイビー通信



第4号 令和元年 7月 発行

〒790-0067
松山市大手町2丁目1-3
松山市民病院 病児保育アイビー
TEL 089-968-1319 (直通)

日差しが強くなり、蒸し暑い日が続いています。水分補給をこまめに行っていくようにしましょう。

また、気温も湿度も上がってくるこの時期は、細菌が繁殖しやすくなるため手洗いうがいをしっかり行うなどして、衛生面に十分気をつけながら元気に過ごしていきましょう。

お昼の風景

病児保育 アイビーでは、子どもの月齢や体調に合わせ、普通食以外にも軟飯やおじゃ、うどんなどのメニューに変更可能です。アレルギー食にも対応しています！



アレルギー食は札をつけ、お盆の色を変えて間違えないように配慮しています。



おやつおいしー♥

たくさん食べて早く元気になるぞ！



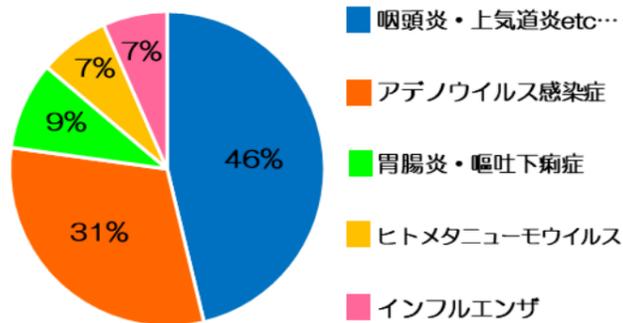
わたしもつかえるよ★

ほくお箸使えるよ☆

昼食と午後のおやつは専用の厨房で調理しているものを提供しています👏



利用状況(H30.3~H30.5) 延べ405人

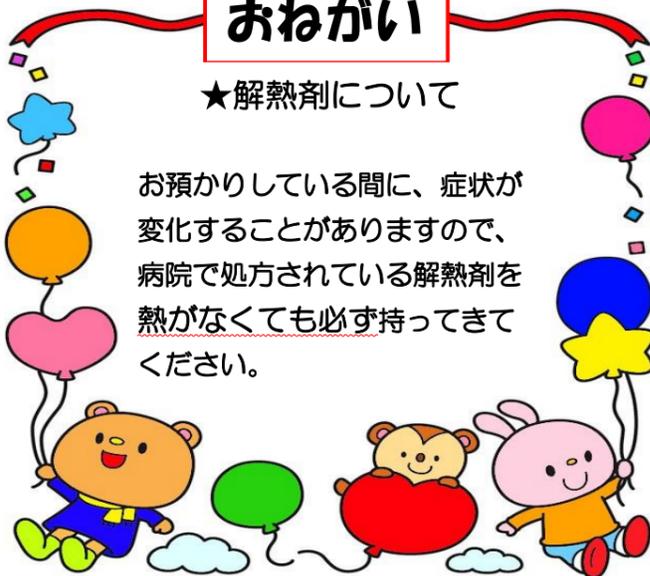


アデノウイルスの中でも、結膜炎は感染力が強いので、ご家庭ではタオルなどの共有は避け、手洗いをこまめに行いましょう。

おねがい

★解熱剤について

お預かりしている間に、症状が変化することがありますので、病院で処方されている解熱剤を熱がなくても必ず持ってきてください。



熱性けいれんについて

小児科医師より



○熱性けいれんとは？

子どもの脳は熱に弱く、熱があるとけいれんを起こすことがあります。これを『熱性けいれん』といい、5%以上の子どもに起こるといわれています。

○症状

熱が急に上がるときに、意識がなくなり白目をむいて、身体を硬くしたり、手足をプルプル震わせます。顔色がわるくなりますが、ふつう数分以内におさまります。

○対処法

落ち着いて、安全な場所にうつし、衣服を緩めてあげ、時間を確認してください。吐きそうなどときには、頭を横向きにさせ、のどに物がつまらないようにします。口にタオルや箸を入れることは危険ですのしないようにしましょう。ふつう数分以内で意識が戻りますので、手足の硬さがとれ、顔色がよく、規則正しい呼吸をしていれば、そのまま様子を見てかまいません。5分以上けいれんが続いたり、けいれんの後に意識が戻らない場合、けいれんが長引いた『けいれん重積状態』かもしれないので、救急車を呼びましょう。

○熱性けいれんの予防法とは？

熱性けいれんを繰り返す子どもさんには、熱が出た時点でけいれん予防の座薬(ダイアップ座薬)を使い、熱性けいれんを予防する方法があります。小児科医に相談してください。



子どもの紫外線対策について



看護師より

紫外線は4月~9月が強いといわれています。紫外線をたくさん浴びすぎると、皮膚や目の病気を起こしやすくなります。子どもの皮膚は大人に比べて刺激に弱いです。まずは帽子を使用し、肌の露出の少ない衣類を選びましょう。日焼け止めも、生後0ヵ月~使用できる物もあり、ほとんどが5~6ヵ月頃から使用できます。低刺激、無香料、無着色の物を選びましょう。日常生活・・・SPF15~20 PA(++) 山や海・・・SPF20~40 PA(+++)を目安に市販のものを使用したので大丈夫です。ほとんどの日焼け止めは、入浴時の石けんで落とせます。しっかりきれいに洗い落とすことが大切です。外遊びの時間帯も紫外線の強い10:00~14:00は避けると良いでしょう。

SPF・PA
=紫外線カットの指標

